

すてるはずだった・・・

# ふくのはぎれをつかって 「京こま」をつくろう！

むかしは、きれなくなった着物は、『仕立て直し』（一度ほどいて作り直すこと）をして、親から子どもへと受けついでいました。

また着物としてきれなくなったものは、『おじゃみ』（おてだま）などのおもちゃを作ったり、ぞうきんにしたりと、最後までとことんつかうのがあたりまえでした。

さて、みなさん、いらなくなった服をどうしていますか？

今、日本では80%近くの服が、燃やしたり、埋め立てたりして捨てられています。

もったいなくないですか？

今回は、すてられるはずの服のはぎれを使って『京こま』をつくりました。

このこまづくりを体験して、ごみを減らすなど、『地球環境にいいこと』で、身の回りでどんなことが出来るか？考えてみてください！そして、できることからはじめましょう！



## 「京こま」とは？

きものの布やひもを心棒にまきつけたものを『京こま』といわれています。

木や金属でできたものとは違い、繊維で出来たやさしいこまは、優雅な貴族階級の遊びの文化を伝える伝統工芸の一つとして残っています。

以前は、北区紫竹あたりに数件あったようですが、残念ながら現在は、雀休さん一軒となっています。こまは、もともと回すと「頭の回転がよくなる」「お金の回りがよくなる」「仕事や商いが回る」など繁栄、繁盛の縁起物といわれています。

## 有限会社 村田堂

- 業種：学生服専門店  
創業：明治22年(創業120年)  
所在地：京都中京区高倉通二条上る  
環境活動：  
\* KESステップ1認証取得  
\* 京のアジェンダ21フォーラム  
京都環境コミュニティ活動(KESC)  
プロジェクトリーダー  
\* 京都グリーン購入ネットワーク会員等

『服育』活動実践中！！  
CSRの一環として 衣服を通じて心を育む  
『服育』活動を推進！  
環境、社会性をテーマとして、学校などで活動中！

## 京こま匠 雀休

- 所在地：二条城南、神泉苑の南西ななめ前  
代表：中村佳之  
その他：従来の『京こま』をはじめとし、ストラップやアクセサリなど、現代人のニーズにマッチした商品も展開中！  
HP：『京こま』で検索ください。  
ネット販売も行っています！  
今回のWS開催にあたりご指導をいただきました。